

平成30年 近畿大学 産業理工学部・九州短期大学 合同同窓会

日時

平成30年6月2日(土)
総会 17:00／懇親会 18:00
(受付 17:30～)

会費

5,000円

会場

パドゥ・ル・コトブキ
(旧名 ことぶきかいかん)
福岡県飯塚市片島1-7-62
(勝盛公園そば)
TEL.0948-22-5138

主催

近畿大学産業理工学部同窓会実行委員会
近畿大学九州短期大学同窓会実行委員会



ACCESS
MAP



同窓会出欠インターネット受付

平成30年度 近畿大学産業理工学部 同窓会の受付はインターネットからでも可能です。左記QRコードをスマートフォンで読み込んで頂くか、同窓会ホームページの「メール・お問合せ」から入力頂けます。是非ご活用ください。



同窓会 名誉会長あいさつ



産業理工学部 学部長 井原 徹

本年は大学界では「2018年問題」といわれ18歳人口の減少が始まる年で、受験雑誌や経済誌では「大学が潰れる」見出しを載せている始末です。少子化はいまに始まったわけではなく18年前から始まっています。近畿大学は4年前には受験者総数日本一を勝ち取りました。人口減少を予定のうで日本一への準備を行っていたわけです。それは「関関同立と戦わない」独自路線

を進むことの宣言でした。
産業理工学部は一昨年50周年を迎えていましたが、九州の地で成長していくことを地域の人々は予想していたでしょうか。半世紀前に「近畿」の大学が九州の地で大学キャンパス設置という英断を行いました。そして九州工学部・産業理工学部へと学科増設や改組を行い本日に至っています。変わることを恐れない成長の過程には変化することも当然として受け止めてきたのが現在の産業理工学部です。
大学の修学期間は4年です。実社会に出てもずっと近畿大学の学友であり同窓生です。いわば大学4年は同窓への基礎であり準備期間です。この間に学んだ多くの先輩諸氏と接し近大卒業生また社会人として「人生学」を学んでいくと思います。卒業以降は同窓会の先輩諸氏が「教師」となっていただけのものと確信しています。これから先輩諸氏の師弟も飯塚のキャンパスに来ていただけるよう同窓会とともに産業理工学部は成長変化していかなければならないと意を強くしご協力を願う本年です。

合同同窓会実行委員会 実行委員長あいさつ

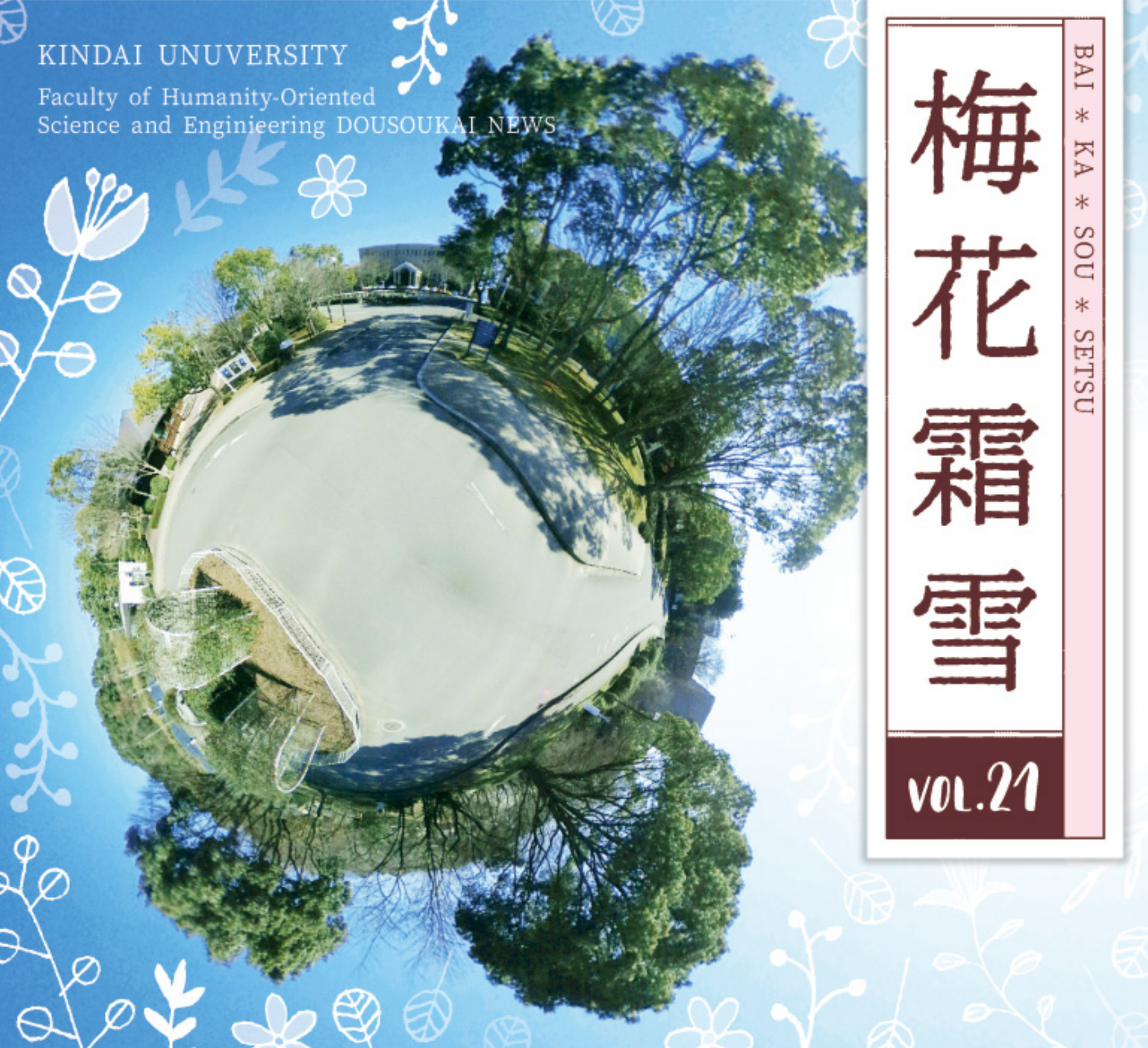


平成26年 経営ビジネス学科卒業 藤本 寿樹

近畿大学産業理工学部同窓生の皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
この度、平成30年度合同同窓会実行委員長を務めさせて頂く事になった、平成25年度経営ビジネス学科卒 藤本寿樹と申します。よろしくお願いします。
私は現在、防犯・介護用カメラ事業で岐阜県警との運用、NTTと業務提携の実績がある(株)ラムロックという筑豊の会社に勤務しています。同窓会活動には以前から興味があり、何度かお誘いを受けてはいたのですが、仕事の都合などでなかなか参加する事が出来ませんでした。今年こそは何かお手伝いを、と思っていたところ武内前実行委員長より御推挙頂きました。初参加で実行委員長という大役に緊張と責任を感じております。若輩者ですが、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。
卒業後、大学や同窓会と関わりを持つ機会

がございましたが、昨今の「近大マグロ」や「志願者数NO.1」などのキーワードを聞くたびに、私事のように誇らしく感じていました。ただ、同窓会に関しては全くイメージが湧かず、立食パーティーや大人の社交場といった漠然としたものと捉えていました。しかしながら今回、実行委員長として会議に加わるようになり、同窓会はただ参加するだけの場ではなく、様々なビジネスの可能性を秘めた場だと考えています。一昨年、50周年を迎えた産業理工学部の同窓生は現在約16,000名、全国だけではなく海外にも広がっています。筑豊〜九州という地域だけのビジネスではなくもっと広い視野で捉えた時、この「近大ネットワーク」を活用出来る事は同じ近大生だけの特権だと考えています。交友関係の拡張、業務の協力・提携、専門分野のアドバイスなど、同窓生の皆様も是非ご活用してはいかがでしょうか。
諸先輩の皆様から話を聞く限り、同窓会になかなか若い方が参加していないのが実情のようで私自身もその1人でした。若い人達を集客するためには、まず私自身が参加して、1人ずつでも輪を広げていく事が重要と考え、その第一歩を私自身が実践したいと思います。ちょうど私の代は産業理工学部で硬式野球部が創部された年の卒業生で、当時野球部の学生のほとんどが同じ経営ビジネス学科でした。この機会に野球部並びに同級生の仲間達と今回の同窓会を盛り上げたいと思っています。
同窓生の皆様、お誘い合わせの上是非ご来場ください。実行委員会のメンバー一同、心よりお待ちしております。

KINDAI UNUNIVERSITY
Faculty of Humanity-Oriented
Science and Engineering DOUSOUKAI NEWS



梅花霜雪
vol.21
BAI * KA * SOU * SETSU

近畿大学産業理工学部同窓会 発行

〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学産業理工学部内 TEL.0948-22-5655 FAX.0948-23-0536
✉ dousou@fuk.kindai.ac.jp 🌐 http://www.kindai-kyushu-dousoukai.jp

2018年4月

同窓会 会長あいさつ



昭和47年 電気工学科卒業 川村 正美

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。毎年発行致しておりますこの梅花霜雪もおかげさまで発行21年目を迎えました。同窓生の絆を紡ぐ橋渡し役として、更に新たな時代・世代に向けた情報発信媒体として、より一層の研鑽に努めて参りたいと思います。
近畿大学産業理工学部は、ここ飯塚の地で52年の歴史を培い、多くの卒業生が日本のみならず、世界中で活躍しています。その様な中で同窓会も皆様のご協力のもと、益々充実した活動を目指し努力してい

ます。卒業生と在学生の絆を育み、母校発展の支援に同窓会として尽力すると共に会員相互の親睦を深め、先輩方より受け継いだ同窓会の歴史と絆を守り、発展させていきたいと思っています。その為にも同窓会行事への卒業生、ならびに教職員の皆様の多くのご参加をお願い致します。
また、若い世代の参加や協力はより活気のある同窓会の未来へと繋がりますので多くの参加を期待しています。その為、本年度は若い世代の皆様にはバトンを繋げて欲しいという想いで、平成25年度 経営ビジネス学科卒業の藤本寿樹氏を同窓会実行委員長に迎え6月2日(土)に合同同窓会総会・懇親会をパドゥ・ル・コトブキにて実施致します。お誘い合せのうえ多数の同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。
また、「近畿大学産業理工学部同窓会」のホームページやフェイスブックでは同窓会の活動や予定を掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。
母校と同窓会の更なる発展の為に、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

春田 祐太郎

最も心に残っている思い出としては大学院1年次、先輩の卒研を手伝う機会があったのですが、その先輩は3年の時に手伝うはずだった先輩で、当時サボり気味の私には充分な手伝いが

在学学生、新社会人のみなさんも是非夢を持って仕事に取り組んでください。

A portrait of Professor Shigeo Fukuda, an elderly man with white hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. He is standing in front of a bookshelf filled with books.

長谷川 徹也教授

永年にわたりご指導いただき、ありがとうございました。

松本 誠一教授

勤続
31年

橋富 博喜 教授

勤続
19年

今回は親子2代4人が産業理工学部を卒業した日下部さん親子をご紹介します。

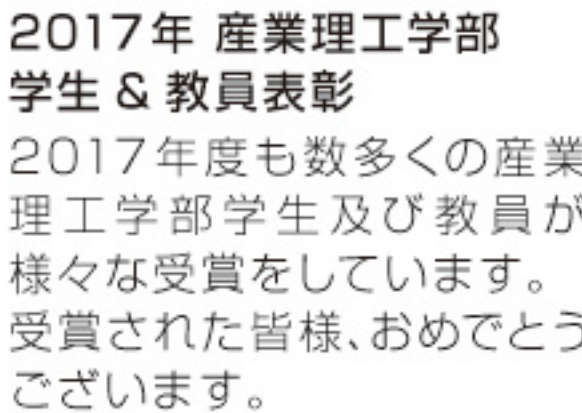
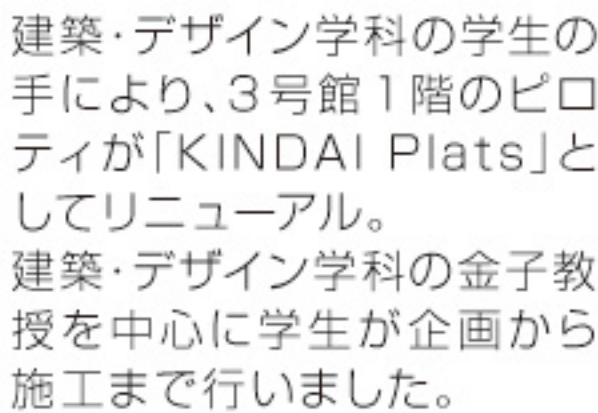
昭和47年 電気学科卒 コンゴー株式会社 会長
日下部 親男 (以下: 父) ※同窓会副会長
平成14年 産業デザイン学科卒 同社 社長
日下部 修 (以下: 長)
平成16年 経営情報学科卒 同社 専務
日下部 徳 (以下: 次)
平成21年 経営コミュニケーション学科卒 同社
日下部 和礼 (以下: 三)

ありがとうございました。10数年後、子ども(孫)達が近大生になったら……と期待してしまいます(笑)

※詳しくは近畿大学産業理工学部同窓会ホームページ「事業報告」をご覧ください。

平成29年11月7日(火)筑豊のムーンレイクゴルフクラブ鞍手コースにて、「産業理工学部同窓会チャリティーゴルフコンペ」が開催されました。昨年に引き続き開催されたこのコンペには、同窓生及び、教職員を含めた24名の方が参加。昨年優勝した方々とのマッチアップはかないませんでしたが、初参加頂いたメンバーと共に秋晴れの爽やかな天候の下、白熱したプレーで盛り上がりました。

※詳しくは近畿大学産業理工学部ホームページ「NEWS TOPICS」をご覧ください。



2017年 産業理工学部
学生 & 教員表彰
2017年度も数多くの産業
理工学部学生及び教員が
様々な受賞をしています。
受賞された皆様、おめでとう
ございます。

仕者氏名
 理工学部同窓会
 会長 川村 正美
 近畿大学産業理工学部同窓会総会
 平成二十九年 六月三日 自 五時〇〇分 至 五
 時
 二丁目七十六十二 バドドゥ・ル・コトプキ

100

平成28年度 近畿大学産業理工学部同
(期間 平成28年4月1日～平成29年3月)

(倉庫建設)	0	0	基金(同部倉庫建設)
周年記念行事)	500,000	3,010,128	基金(記念行事)
支出合計	7,295,000	9,319,806	収入合計
繰越金	22,888,740	21,653,261	前年度からの繰越金
合 計	30,183,740	30,973,067	合 計

2017年チャリティーゴルフコンペの募金¥12,000は昨年に引き続き全額嘉穂劇場へ寄付。我々同窓会は、飯塚のシンボルであり貴重な文化財である嘉穂劇場をこれからも維持して頂く為に、微力ですが協力させて頂きました。 ※2017年4月 嘉穂劇場は正式に認定NPO法人として認可されました。

Dr. Shinya Kawai is a middle-aged man with short black hair, wearing a dark suit, white shirt, and dark tie. He is standing in front of a blue background with white text and a white cup-like shape.

近畿大学産業理工学部 学生支援課 河上まで。TEL.0948-25-3862



同窓会
Facebookページ
QRコード

近畿大学産業理工学部 同窓会

检索

人との出会いで学生は成長し、私も学生から多くのことを学ばせていただきました。こうしたつながりがこれからも続くことを願っています。